

グローバル時代の感染症対策

～外務省感染症講話～

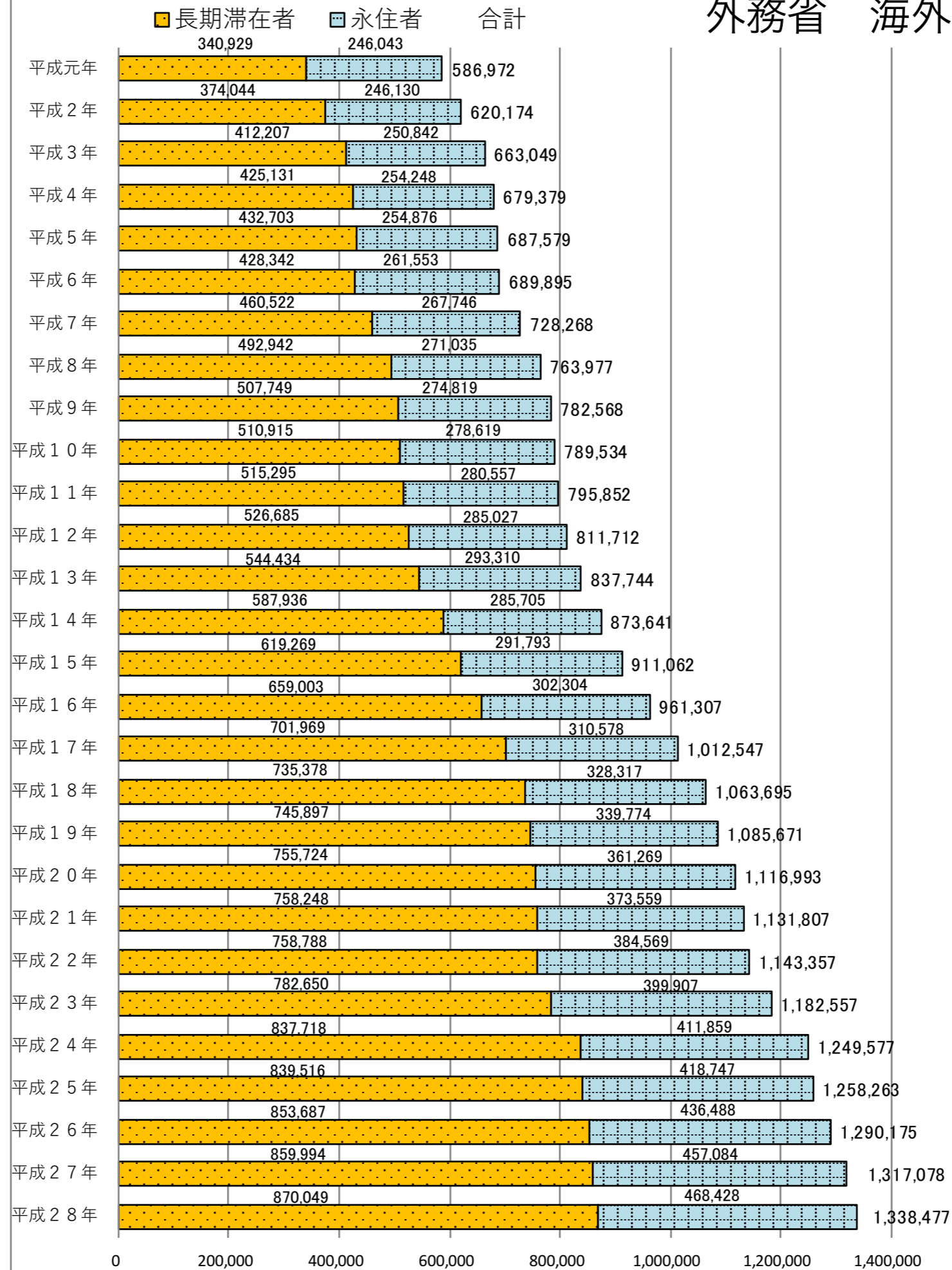
2017/11/02-10

感染症専門医

国際渡航医学会認定医

慶應義塾大学医学部感染制御センター 宇野俊介

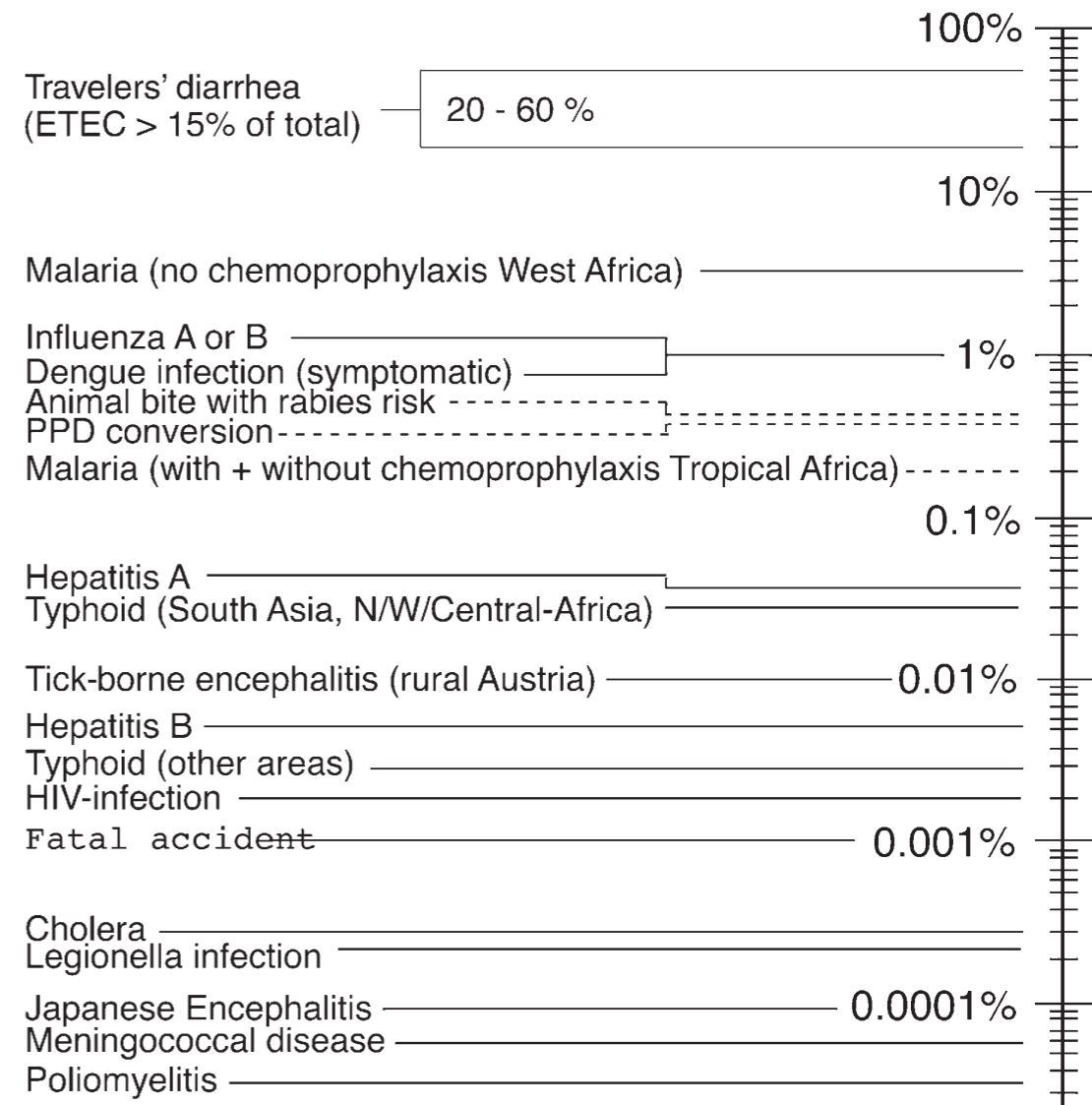
外務省 海外在留邦人数調査統計



海外渡航と健康リスク

1ヶ月の渡航で10,000人あたり

- 下痢症 2,000-6,000人
- マラリア 200-300人
- インフルエンザ 100人
- デング熱 100人
- 狂犬病リスク 50人
- A型肝炎 3人



中国ではどんな感染症に 気をつけたらよいか？

厚生労働省検疫所

FORTH 海外で健康に過ごすために

文字の大きさ 小 標準 大

Q サイト内検索 Google カスタム検索 検索

FORTHについて サイトマップ

トップページ

新着情報

国・地域別情報

お役立ち情報

リンク

医療関係者

- 北京では、特に暑くなる5月から10月に、食中毒、[赤痢](#)、[腸チフス](#)などの消化器系感染症が多く見られます。十分加熱されたものを、冷めないうちに食べるようにしましょう。
- 北京市内や上海市内でも[狂犬病](#)の感染例が報告されているようです。また、[鳥インフルエンザ \(H7N9\)](#) の患者の発生が報告されています。動物に手を出したり、近寄らないようにしましょう。
- 一部の地域（雲南省や海南省、南部や中部）では[マラリア](#)が発生しています。ホテルなどでも、隙間から蚊が入り込んだりしますので、蚊よけ対策をとってください。都市部ではマラリアのリスクはありません。
- 湖・河川地域では[住血吸虫症](#)がみられます。国の対策により患者数は減少してきていますが、汚染された水に触れることで皮膚からうつりますので、河川や湖の水には触れないようにしましょう。